

未来の医学生らにアピール 医学・薬学・看護学生のセミナー開催



飛騨地域の中核病院や国保診療所の医師、薬剤師、看護師の協力で、飛騨地域の将来の医療を担う人材を確保しようと、学生対象のセミナーが8月20日に高山赤十字病院で開催されました。

院長らによる学生への熱いメッセージや病院の紹介のほか、被災地活動報告などに、参加した学生は熱心にメモを取り、その後の交流会でも活発に意見を交わしていました。

夜のにぎわい、創出します 国分寺商店街、おそまでショッピング



国分寺商店街では、お店を閉める時間を遅くすることで、夜のまちのにぎわいを生み出そうと、毎月第2土曜日に午後10時まで営業時間を延長しています。

初開催となった8月13日には、25店舗が特別割引や目玉商品などを取り揃えたほか、着ぐるみも登場し、訪れた買い物客を楽しませていました。

たからものが勢ぞろい 飛騨高山たから市、盛大に開催



高山の新たな美食などを一堂に集めた催しが、8月27日に総合福祉センターで行われ、24団体の出店に家族連れなど約7千人が訪れました。

まだ知られていない地元の「たから」を多くの方に知っていただき、地域の活性化につなげようと、高山青年会議所が初めて開催しました。鮎や飛騨牛の無料試食とともに東日本被災地募金もあり、会場は元気と善意で溢れていました。

40年間の節目に感謝 勤労青少年ホームが開設40周年



昭和46年に働く若者に憩いの場を提供する施設として開設された市勤労青少年ホームが開設40周年を迎え、記念式典を8月21日に行いました。

式典では、各種講座の講師を長年務めていただいている14名、2団体に感謝状が贈呈されました。受賞者を代表して着付講師の岩畠玲子さんは、「今後も伝統文化を通じてみなさんの希望の星になれるよう頑張りたい」と喜びを語りました。

共同開発第3弾 「えごまアイス」誕生！

飛騨酪農農業協同組合と飛騨高山高校との共同商品開発により、100%飛騨産のえごまを使用したアイスが完成し、9月6日に市長へ報告がありました。生徒は授業の一環として、商品パッケージデザインと試食を重ね、今後は飛騨高山アンテナショップ(本町2)などで販売にも取り組みます。

あぶらえと牛乳の風味が程よく調和した甘さ控えめの仕上がりです。これまでに共同開発された宿儺かぼちゃアイス、紅茶アイスとあわせてどうぞご賞味下さい。

問合先 飛騨高山高校(岡本校舎)
☎32-5320

